

配布

大洞	4-81
東山	3-56
北山	38-363
コモン北	6-87
桜台	23-334
桜市	41-313
柏台	31-333
柏市	26-215
桐丘	23-200
桐市	6-45
紅葉	21-268
紅市	16-137
桜2P	1-23
計	239
	/2455

平成21年度 4号
2009年 7月1日
住み良い町づくりへ
ご意見・情報*をお寄せください

元気！緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
芥見東まちづくり協議会
発行人:多田 喜代則
編集:自治会だより編集部

46年ぶりの日食を見よう！7月22日午前10時30〜東部コミセンで。岐大佐々木名誉教授の講話があります。みどりっこバスを増発し、小中生には乗車券を贈ります。

みどりっこバス 7月13日から便数が減ります

いよいよ来春からの本格運行を目指しますが、それにはこの6月からの運行収支が評価されます。

そのため住民の皆さんにもっと利用していただき運賃増収を図り、同時にルート、ダイヤも見直して経費を削減することが必要となりました(6月号参照)。

ダイヤについては皆さんになるべくご不便を与えないよう調査と検討を重ね、以下のように変更しました。

平日と土曜:南回り、北回りとも最終便を削り各8便に。
日曜と祝日:第1便と、うしろ3便を削り、各5便に。

<なぜ?>運行経費(走行距離に比例)が現行ダイヤで年間約1500万円かかるのに対し、岐阜市からの補助金は上限850万円(当初より増額)、そこで経費を減便等により約1300万円に減らし、差額約450万円を1日平均170人の運賃収入で確保します(平均運賃74円として)。企業協賛ももっとお願いしていきます。



散策に、買い物に、往きは歩いて、帰りはみどりっこバスで! など、地域の足として育ててください。

市民協働 みどりっこバスはその成果です

—岐阜市交通総合政策課・片平 貢輔さん
岐阜市の目指す「協働」とは、「市民がお互いに、そして市民と行政が、それぞれの持つ特性を活かしながら、補完し合い、協力し合い、社会的課題の解決に当ること」(協働のまちづくり指針より)です。

当芥見東地区のみなさんの取組み方は、まさに「協働」といえるのではないかと思います。

地域で新しいことを始めるときに、ほとんどを行政に委ねたり、また地域同士の批判に終始することもある中で、当地区ではコミバス運営にあたって、意見(批判)を地域で受け止め、地域で考え、実行し、地域に根付かせようと積極的に取り組んでいます。

私も行政としての役割を果たすべく、みなさんとともにみどりっこバスを盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

起震車で知る地震の怖さ。その時私は? 防災訓練より 事後の百策より事前の一策

—藍川東中学校教頭・大塚 健司先生

6月14日、本校で地域防災訓練が行われ、生徒も参加させていただきました。生徒たちは、通常の避難訓練に加え、3隊に分かれて起震車、土嚢作りや発電機操作を訓練しました。災害の怖さや機敏な対応の仕方などを体験的に学ぶよい機会となりました。

1年女子生徒の感想をご紹介します⇒「起震車に乗ってみて、想っていたより凄い揺れで、地震の怖さをあらためて感じる事ができた。そして、あの揺れの中でどのような行動を取ればよいのか、しっかり考えて行動できるようにしたいと思いました」。

—紅葉が丘支部の方より

紅葉が丘地区の防災訓練で初めて起震車を見ました。みなさん、揺れを予知して身構えても、実際揺れると必死で机にしがみついたりして大変そうでした。

地震は時を選ばず襲ってきます。いざという時は慌ててしまって何もできないだろうと実感しました。帰宅後、早速、非常持出袋にいただいたばかりのキャンパンを入れながら中身を点検しました。「事前の一策は事後の百策に勝る」という言葉を噛みしめながら。

また、年寄りだからとか、体の具合が悪いとかで、訓練に参加できない方がおられました。このような要援護の方々を近くの人たちが把握して助け合うことも、とても大切だと思いました。

＝安否を確認し合うための災害用伝言ダイヤル＝
伝言する☎171+1+自宅等の電話番号へかける
伝言聞く☎171+2+自宅等の電話番号へかける
—非常時に備え、使い方を試しておきましょう—
《伝言ダイヤルは以下の日にお試し体験できます》

毎月	正月	防災週間	防災ボランティア週間
1日	1日～3日	8/30～9/5	1/15～21日
0:00～24:00		9:00～17:00	



*「こうしては?」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

初めての道 クルマ中心の生活の落とし穴

—北山支部長・岩垣 儀一さん

支部長という大役を引き受けたこの2ヶ月間は、自治会役員の皆様の自宅へ様々な書類やチラシなどを持参する機会が増え、北山団地内を歩き廻っています。

そのおりに「ハッ」と気がつきましたのは、40数年間北山団地に住みながら一度も歩いたことの無い道が、長短はあるものの7～8本もあることです。我ながら長い間北山で何をしていたのだという思いにかられます。

北山という団地は東西に約 900m・南北に 300m程度の狭い範囲にもかかわらず、自動車という便利な乗物中心の生活を続けてきたことが、いつの間にかこうしたことになってしまったという現実を思い知らされます。

これを機に、支部長として手始めにしなければならないことは北山団地内の道を歩き続けること、これこそ支部長という大役を果たせる道である、と40数年間の悪しき生活習慣の反省をふまえて強く感じています。 □■

カシャッと一句 フォト575の作品を本紙にも

—芥見東自治会連合会理事・榊原 正

今からテレビで楽しみにしているのが7月6日から放送される、NHKのごひちごフォト575という番組です。

投稿写真に俳句、川柳などのコラボに、司会・選者や週替わりするゲストコメンテーターのお喋りが盛り上げて楽しく、思わず笑ったり、感心したり・・・。

作品に人それぞれの生活や感性がにじみ出て、いろんな考え方、捉えかたに拍手しています。

ご覧になられた方もあると思いますが、4月に放送された、おばあさん

のカラオケ・ツーショットは、川柳と写真の取り合わせが絶妙で思わず爆笑してしまいました。



NHK HPより

最近ではデジカメで気軽に写真が撮れます。

公民館の同好会などで楽しまれた皆さんの作品を自治会だよりに投稿していただいてはどうでしょう。楽しい紙面づくりにお知恵を貸してください。 □■

芥見東公民館 心と体の健康講座のご案内

- ・7月2日(木)午前10時～人権同和教育講座「女だから男だから」の意識～個性を大切に～：三羽佐和子先生
- ・7月4日(土)午前10時～「いきいき筋トレ体操」

第2の人生 閉じこもらず身体を動かして

—桜台支部の方より

暑い季節がやってきましたね。私も今年で67歳を迎えます。子どもの頃は早く大人になりたいなあ・・・と思っていましたが、なかなか時間が遅く感じられました。

ところが、歳を重ねるごとに、1年が早く経つように見え、体力の衰えを少しでも補おうと、ストレッチや散歩を心がけています。真っ青な大空のキャンパスに飛行機雲が一直線に描かれるのを見ると、元気が出てきます。

この春、娘に女の子が誕生しました。待ちに待った初孫です。早速、対面に上京し、娘と赤ちゃんを見て安心し、大変嬉しい思いをしました。これからは第2の人生、退屈しない人生をと思っています。閉じこもらず、サークル、自治会活動、畑など体を動かしていこうと・・・。 □■

中学生と語る会



で、生徒代表は、「挨拶運動を広めます」、「地域とのふれあいを強め、**里山づくり**にも目を向けたい」

6月20日青少年育成会議主催 と頼もしく話しました。

糖尿病が急増 特定検診を受けましょう

東部ふれあい保健センターから

6月のまちづくり協議会でショッキングな報告がありました：

- ・糖尿病患者数は、全国で220万人を超え、20年前と比べ倍増しています。なんと、自動車の保有台数に比例！
- ・小学生も3人に1人は、血糖値、中性脂肪などが異常で、生活習慣病の予備軍になっています。スナック菓子などのおやつの影響も大きいようです。
- ・一方、芥見東地区の男性の特定検診受診率は25%以下で、近隣他地区と比べ低くなっています。

⇒詳しくは、「やろまいか!!今日から変える生活習慣」(11月1日、東小)で、同保健センターの指導があります。



盆踊りの特訓が始まりました

行事もろもろ 地域の福祉～お祭り～冒険

- 7月5日(日) 福祉連絡合同会議：芥見東公民館(社協)
- 8月8日(土) 夏祭り・盆踊り大会 **一緒に踊りましょう**
- 8月16日 **イカダで長良川下り**(青少年育成市民会議)

《交通安全協会よりのキツイお伝え》6月1日から飲酒運転に関する罰則がさらに厳しくなり、酒気帯びでは一発で免許取り消しも。酒酔いなどをそのかしても同様です。